

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看護師の配置がない中での、利用者の体調管理、情報共有など介護技術のレベルアップや病態を把握した上での観察ができるなど知識向上の必要性がある	介護技術全般のレベルアップ	・苑内での行なわれる研修への積極的な参加 ・グループホーム独自の勉強会の開催(病態別、介護技術など)	9ヶ月
2	2	住所地である地区との関係を深める。利用者が地区に行くことばかりではなく、スタッフも地区行事など参加し関係作りをする必要がある。隣接している保育所との交流を深めるため、園児だけでなく保育士との交流を図る	・地域との交流の機会を増やす ・グループホーム入居者や認知症の事を知ってもらう	・運営推進会議にてスタッフの地区行事参加(手伝い)の声かけをしていく ・保育所長へ、保育士向けのサポーター養成講座の開催を提案する	9ヶ月
3	10	昨年度、家族会を予定したが家族参加が少なかったため、今年度は違った形で家族との交流の機会を増やしたい	家族との交流の機会を増やし足を運んでもらう	利用者との食事会や外出・ドライブなど計画し、普段の様子を知ってもらう	9ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。